



# 心のつながりシート



## シトラスリボンプロジェクト

シトラスリボンプロジェクトとは、シトラス色のリボンを身に付けることで、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表現するものです。リボンの三つの輪は「地域・家庭・職場（学校）」を意味しています。コロナ禍で生じた差別や偏見を耳にした愛媛県の有志によって作られたこのプロジェクトに本校も賛同し取り組みました。



生徒会役員による、シトラスリボン作り講座を行いました。

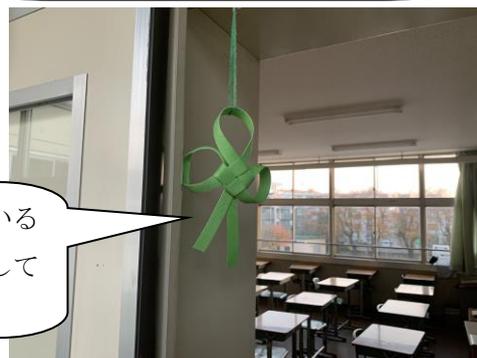


近隣小学校へ宣伝に行きました。温かいまちを目指します。



シトラスリボンをかばんに付けている生徒が多いです。

プロジェクトに賛同しているクラスは、教室にも掲示しています。



コロナ禍の中でもできる生徒会活動は何かないか。生徒会役員で話し合いを深める中で、ニュースや新聞で紹介されていた“シトラスリボンプロジェクト”を、保谷中学校から地域に広げようという案が浮上しました。

校内でプロジェクト賛同者を募ったところ、200人を超える生徒が集まりました。生徒たちは筆箱やバッグ等の持ち物に、教員は名札にリボンを付け、「新型コロナウイルス感染者を差別しません」という意思表示をしています。また、「温かいまちにしよう」と、近隣の四つの小学校にプロジェクトの紹介も行いました。

誰もが感染者・濃厚接触者になり得る可能性があるからこそ、お互いを思いやる優しい気持ちを強くもち、感染した方が安心して帰って来られる学校・地域を目指したいと思います。